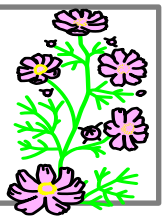
白石小学校だより

山口市立白石小学校
第　６　号
２０１８.１０.１発行



幸せに生きていく力を育みたい

よいことをすると、よいことが起きる！
よいことを続けるととてもよいことが起きる！

師事していた方にいただいた言葉です。

「よいことをする」というのは、人のために汗をかくことであったり、ちょっとした親切であったり、はきものを揃えることであったり、ごみを拾うことであったり、様々です。

また、その場面は家庭や職場ということもあるでしょうし、人間関係の中であったり、自分の仕事の中であったり…これも様々です。

でもよいことだとわかっていても、なかなかできません。
見返りや合理性がないと行動できないのが普通です。
人にせっかく何かしてあげても、ほめられもせず、相手は何も変化しないかもしれません。感謝もないかもしれません。だからなおさら「せっかく〇〇してあげたのに･･･「損！したなぁ」の気持ちも強くなります。**近くに見える損得で動く…人は誰しも仕方ありませんね。**

だから他人のために…なるべく汗をかかない！自分が捨てたんじゃないごみは拾わない！まっとうな考えではあります。

ところが、**他人のためにエネルギーを使わない人は、次第に自分のためのエネルギーを失くしていくような気がします。**

人のエネルギーは、ちょっと他人のために、ちょっと合理性がなくても、誰も見ていなくてもやることで、自分自身のエネルギーと、幸せを、大きくしていくような気がします。

誰しも忙しい秋！日々の忙しさに、通り過ぎることが多くなります。でも…
「ふと」感じた「よいこと」を、なるべくすぐに行動に移すようになれたらなと思います。

校 長　藤 永　靖 彦

〇運動会ではＰＴＡの皆様には、綿密な準備・後始末等、多大なご支援にただただ感謝です。おかげさまで心配した天候にも恵まれ、元気一杯の子ども達と演技を見ていただきました。地域の皆様にもたくさん来ていただき、大きな拍手をいただきました。本当にうれしい一日でした。皆様、ありがとうございました。